

嵯峨狂言豆知識

「大念佛狂言とは？」

「嵯峨大念佛狂言」は、壬生やえんま堂と並ぶ京の三大狂言の一つで、国の「重要無形民俗文化財」に指定された伝統芸能です。鎌倉時代中期に円覚上人が融通念仏を広める手段として、仏の教えをわかりやすく劇に見せたのが始まりと伝えられています。以来、七百年の間、嵯峨の里人の親

嵯峨大念佛狂言保存会 今後の公演日程

■清涼寺お松明式

日時／平成30年3月15日(木)
場所／清涼寺・本堂東横
時間／3時半～ 5時～ 6時半～

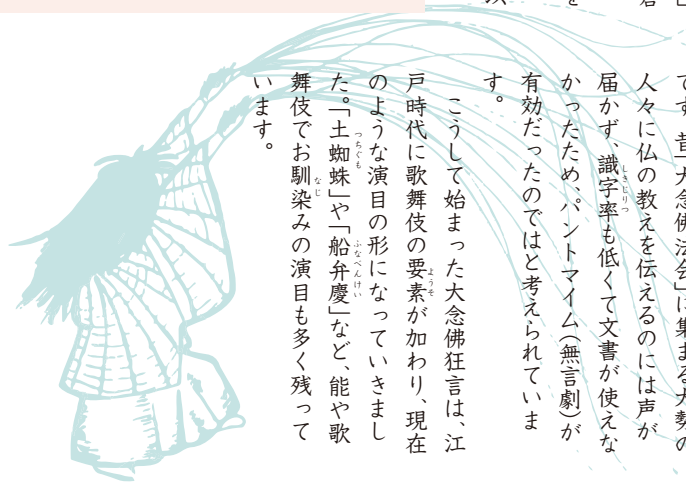
■春の定期公演

日時／平成30年4月1日(日)・7日(土)・8日(日)
場所／清涼寺・本堂東横
時間／1時半～ 2時半～ 3時半～

から子、子から孫へと大切に守り伝えられてきました。

一般的に知られている、能のあいだに演じる狂言との違いは、全員お面をつけること、そして無言劇であることです。昔「大念佛法会」に集まる大勢の人々に仏の教えを伝えるのには声が届かず、識字率も低くて文書が使えなかったため、パントマイム(無言劇)が有効だったのではと考えられています。

こうして始まった大念佛狂言は、江戸時代に歌舞伎の要素が加わり、現在のような演目の形になっていきました。「土蜘蛛」や「船弁慶」など、能や歌舞伎でお馴染みの演目も多く残っています。



嵯峨狂言堂修復募金のお願い

明治34年(1901)に現在地に移設された狂言堂は、京都府・市文化財保護課の指導による建物調査により、緊急の修復が必要と判断され、本年完成予定です。江戸期の様式に修復する工事が着工されています。現在、狂言堂修復工事にあたり皆様の善意に夜ご寄付を募っております。嵯峨大念仏狂言の継承・存続につながる寄付金をお願いします。

※ご寄付は清涼寺でも募っております。



修復前の狂言堂。
江戸期の様式へと
修復されます。

●振り込み口座● 京都銀行嵯峨支店 口座番号 4311871
サガダイネンブツキョウゲンホゾンカイ宛

嵯峨大念佛狂言



嵯峨狂言クラブ公演

日時
場所
時間

平成三十年三月三日(土)
夢窓幼稚園 二階ホール
午後一時開場 午後一時半開演

かに 蟹殿 はな 花盗人



花盗人

おはなし

はなぬすつと

配役

※都合により、変更する
場合があります。

旦那が供を誘って、花見へ出掛けます。旦那が土産に桜の枝を切り、供に「一緒に担いで帰ろうではないか」と誘っているうちに、

盗人が枝を盗んでしまいました。困った供が桜を返して欲しいと頼むと、盗人は小枝を折って渡します。喜んだ供は、小枝を見せに戻りますが、旦那に「ぜんぶ取り返せ！」と怒られます。再び、供は桜を返すように盗人に頼みますが、今度は太刀を取られてしまう始末。仕方なく旦那は供に刀を貸してやり、桜を取り返しに

向かわせます。供は刀を研ぎ、盗人に挑もうとするものの、一枚も二枚も上手の盗人に翻弄されるだけでまともな勝負に

そして猿の住処に着いた子蟹たちは、力を合わせて親猿の首を討ち取り、意気揚々と退場します。